

市民講座

主催・あきる野市中央公民館

一回目 令和2年・10・13(火)

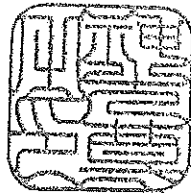
二回目 令和2年・10・27(火)

< 悠久の漢字文化 >

漢字は魅せる…
—孤立した漢字は一つも無い—

漢 字 考

かみ こうそん
上 浩村 著「漢字考」抜粋



元東京都公立中学校校長・村上 浩 (国語科)



目次兼レジュメ

第一考 (漢字の魅力)

序章 (自己紹介)

- 1、漢字頌詞 …P 4
- 2、漢字に興味を持った4つの切っ掛け…P 5

第I章 漢字の基本的知識 (概要)

- 1、漢字の歴史 (実用化の変遷) …P 6
- 2、漢字の成り立ち (六書) …P 6
- 3、国字を造る (日本の漢字) …P 6
- 4、漢字の特徴 (字体には物語がある) …P 7
- 5、漢字の「音」とは何か …P 7
- 6、漢字の字数と日常生活上の漢字数 …P 7



福

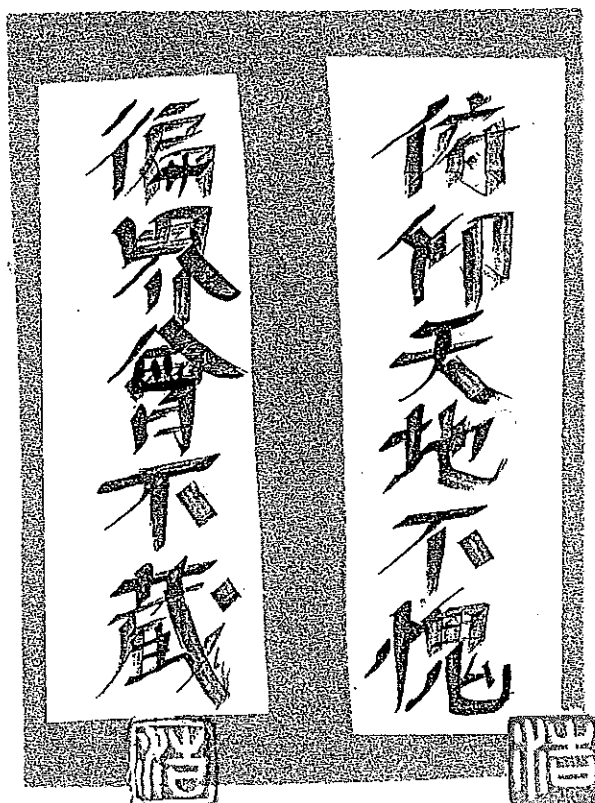
寿

第II章 漢字の面白さ (見ただけで意が解る)

- 1、漢字は合理的に造られている …P 8
- 2、漢字の偏から字義が想像できる …P 8
- 3、1つの漢字から他の漢字も連想 …P 8
- 4、漢字の深さを知る …P 9~15
- 5、楽しく漢字を理解するコツは部首に注目する …P 15

第III章 「オンナ」偏の疑問 (漢字興味の原点)

- 1、「オトコ」偏の字は無い? …P 16
- 2、男尊女卑が「オンナ」偏に反映 …P 16
- 3、男女差別は何時どのように始まったのか …P 16
- 4、オンナ偏の漢字を見る
「婚」「嫁」「婿」「婦」「妾」 …P 17
- 5、女性から「差別だ!」との声? …P 18



第二考 (国語・漢字教育を憂ふ)

第IV章 国語力の低下が日本の国力の低下を招く

- 1、和漢混淆文の魅力 (漢語の効用) …P 18

- 2、語彙の決定的不足 … P 1 9
- 3、母国語の衰退が国を滅ぼす … P 1 9
- 4、早期英語教育の導入は間違い … P 2 1

第V章 漢字教育を重視した「国語教育」が
日本を再生させる

- 1、粗末な漢字政策は残念 … P 2 1
- 2、読書と作文の時間を増やす … P 2 3
- 3、ネット言葉について考える … P 2 3

第VI章 漢字言葉の魅力 … P 2 4～2 8

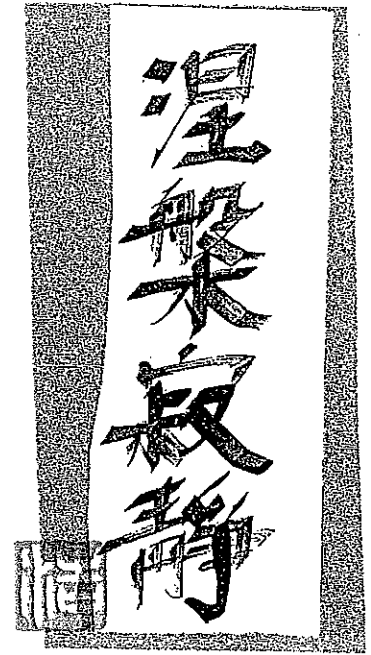
- 1、漢語は魅せます！目から鱗が
 - ①ゲキを飛ばす ②言語道断 ③才と歳
 - ④「じゃっかん」 ⑤宿題 ⑥如才ない ⑦醍醐味とは？
 - ⑧大食漢 ⑨「敬遠」 ⑩土壇場 ⑪巫女の正体 ⑫神の正体
 - ⑬天子南面す ⑭内裏様の位置は？

第 三 考 (人生を考える)

- 1、人生を考える言葉 … P 2 8
 - ①生 (この世に生を受ける)
 - ②煩惱 (生きる上で様々な欲望に悩む。生死老病)
 - ③諸行無常 (聽て自然界を含めたこの世の無常を知る)
 - ④喝 (人生の岐路, 己を励ます。)
 - ⑤俯仰天地に愧じず。(やましいところが…)
 - ⑥徧界曾て蔵さず。(蔵をどう読むか)
 - ⑦明珠在掌 (めいじゅたなごころにあり)
 - ⑧涅槃寂靜 (三法印の1つです)
 - ⑨無 (最終的には無我の境地に)
 - ⑩道元の「四季の偈」 (日本の自然美を端的に叙述)

追章二題 (「令和」, 「国語力の低下」)

- 1. 「令和」について (新元号に合わせて
「令和逍遥」より抜粋) … P 3 0
- 2. 国語力の低下 (何かを伝えたい) … P 3 1
- 3. 資料・女偏漢字表 (読解答付) … P 3 3



漢字は魅せる…

— 孤立した漢字は一つも無い —

第一考 (漢字の魅力)

序章 (自己紹介)



1. 漢字頌詞

- ・ 漢字は書くより見て覚えよう
よく視ると何か心に浮かびます
浮かぶと心の翼が広がります
- ・ 拡がると想像力は膨らみ
あなたの創造力を掻き立てます
あなたは漢字探検を始めてます

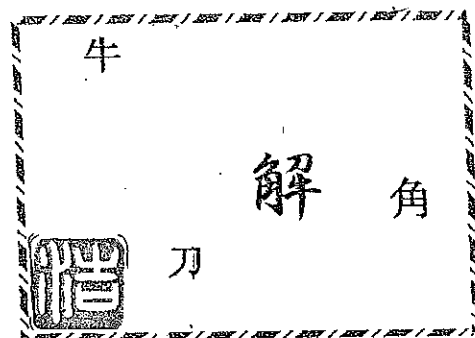


- 皆さん！漢字とどう付き合っ来られましたか。私は国語科の教師でしたが漢字の知識が浅く、皆さんの方が漢字には詳しいと思います。それでも様々な形で漢字と付き合ってきた経験から、その想いを纏めたものが本稿です。それ故今週と来週の2回、「悠久の漢字文化」と「不滅の漢字の魅力」について、ご一緒に勉強して参りたいと思います。
- ・ なお本稿は漢字を多用しております。適宜ルビを付けてはおりますが、皆さんには煩雑な思いをさせると思っています。予めご理解頂きたいと思っています。
- 早速ですが「遊」や「迷」の漢字をよく見て下さい、何か物語がありそうです。
- ① 「しんにょう 遊」はウロウロ歩き回る事を意味しています。徘徊です。「迷」はどうでしょう。「米」は四方八方に道が分かれ、どの方向へ進めば良いか「迷う」事を表した字です。
- ② これが物語です。この事に気付いてからは漢字を見るだけで、どんな物語や逸話があるのか津々と興味が湧き、漢字との付き合いが始まりました。
- ③ とは言っても漢字が書けた訳ではありませんでした。書くより唯見たのです。何かが見えて来るからです。すると心や目に浮かぶものがあります。例えば「集」は、木の上に鳥が止まっている光景が浮かびます。だから「集う」「集会」などの言葉、凄く納得出来ました。「トリ」については後述します。
- ④ このように、漢字への強い想いを詩に託したのが上記の「漢字頌詞」です。

2. 漢字に興味を持った4つの切っ掛け

① 語彙の豊富な漢字

- ・小学五六年生の頃から歴史に興味があり、吉川英治の時代小説や松本清張の古代史ミステリー物を読みました。見たことのない漢字や難しい熟語には辟易しましたが焦らず臆せず辞典を横に置いて読み進めました。不思議と嫌ではありませんでした。寧ろ漢字語彙の新たな獲得に次第に憑かれていきました。



② 優雅な美しい漢字

- ・漢字の美しさ、優雅さ、整った字形に魅せられました。例えば「華」と言う漢字です。何か曼珠沙華の花の形に似て綺麗です。この綺麗の「綺」も「麗」も非の打ち所のないほど優雅に整った字形です。カナ文字やアルファベットではこの様な印象や感慨を抱くことは出来ません。

③ 意味と物語がある漢字

- ・中学生になると漢字の意味の拮据りに興味が増えました。例えば右上の「解」の字です。音読で「カイ」、訓読では「解」くや「解」くと読みます。良く見ると「刀」で「牛」の「角」や「体」をバラバラにしていることが解ります。「ああ、何て合理的で納得の出来る漢字だろう！」と感動した覚えがあります。
- ・もちろん「分」と「解」の違いも調べました。想像刃が働いたのです。そしていつしか自分で漢字を解釈出来る様になりました。今度は創造力が働いたのです。
- ・英語の「B、O、Y」、一つ一つの文字には全く意味はありません。3文字繋がってやっとな「少年」の意味になります。(平・片仮名の「し・よ・う・ね・ん」同じです)
- ・しかし少年の「少」には「すくない、わかい」の意味があり、「年」には「とし、とき、すすむ」などの意味を持っています。だから「少年法」と言う時、男子だけではなく女子も「少年」に含まれるのです。零れ話で真偽の程は定かではありませんが、「少年法」が成立した当初、何故「少年少女法」と言わないんだ！」とのお叱りがあったそうです。でも今の説明で皆さん十分納得頂けたと思います。

④ 無い！オトコ偏の漢字

- ・漢字に対する高まりが、昂まりまでに達したのは高校に上がる頃でした。オトコ偏の漢字は一つも無いことを発見したからです。男の字が付く漢字は「男」「甥」「勇」ぐらいしかありません。だが「オトコ偏」の漢字ではありません。それぞれ「田」偏、「生」偏、「力」偏です。つまり「オトコ偏」の漢字は何と！一つもないのです。「オンナ偏」のついた漢字は約200もあると言うのに…。また「婿」と言う漢字です。男性なのにオンナ偏の漢字です。この不思議さに驚き、早速辞書を捲ったものです。

第I章 漢字の基本的知識 (概要)

金
文



1、漢字の歴史 (実用化の変遷)

- ①【甲骨文字】 ・漢字は中国で生まれました。最古のものは三千数百年前の殷王朝時代の甲骨文字です。亀の甲羅や獣骨に刻まれたものです。
- ②【金文】 ・周・春秋時代に祭器や武器等の青銅器に刻まれた文字で、金文と言います。甲骨文字よりやや丸みと太さがあります。
- ③【篆書体】 ・前3世紀頃、秦の始皇帝は字体の統一を図るため造られました。それが篆書体文字と言います。印鑑等に多く使用されています。
- ④【隷書体】 ・隷書体は篆書体を簡略・実用化し、使いやすくした文字です。秦の時代です。
- ⑤【楷書体】 ・後漢の頃 (1800年前) 隷書を更に簡略化した文字で楷書体と言います。爾来今日まで漢字の基本形になっています。
- ⑥【行書体】 ・楷書を少し崩したのが行書体文字と言います。(後漢)
- ⑦【草書体】 ・晋の時代 (1650年前) に、隷書を早書きするため少し崩したもので草書体文字と言います。

2、漢字の成り立ち (六書)

・西暦100年頃、後漢の許慎は最古の漢字字典と言われ「説文解字」を著し、漢字の造字法として象形、指事、会意、形声の4種類、使用法として転注、仮借の2種類に分け、これを六書と言います。後にまた触れます (秀学社・新国語便覧より)

仮借文字	転注文字	形声文字	会意文字	指事文字	象形文字
すいか 西瓜 パリ マ バ リ	崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来) 崇(一音来)	門 十 化 問 花	明 休	立 本	手 月
その漢字本来の意味とは無関係に、音だけを借りたもの。あて字。	その漢字本来の意味を發展させて、別の意味をもたせたもの。	九割がこれに当たる。意味を表す文字と音を表す文字を組み合わせたもの。漢字の	二つ以上の文字を組み合わせて、別の新しい意味を表したものの。	物事の関係や、点や線などの記号によつて表したものの。	物の形をそのままかたどった絵画的なもの。漢字をつくる基礎となっている。

3、国字を造る (日本の漢字)

・我が国に漢字が伝来したのは古事記に依ると5世紀初めですが、実際には2世紀半ば頃、百済を経由して入って来たと言われます。しかし輸入漢字だけでは豊富な和語に充当出来ず、漢字に倣って造ったのが国字です。平安初期の「新撰字鏡」には約400字が収められているそうです。殆ど会意文字で、例外を除いて音読みはなく訓読みです。中には中国に逆輸入された国字もあると聞いて驚きました。

・音のみの国字 (例外) (塀) ・音訓の両方ある国字 (働・搾)

- ・訓のみの国字 (畑・杵・刃・粃・笹・辻・辻・凧・凧・騾・鯛・峠)

4、漢字の特徴 (字体には物語がある)

- ・前述したようにアルファベットなど世界の多くの文字は「表音文字」と言い、音はあるものの意味を持っていません。数個の文字を連ねて意味を持たせています。漢字は一字一字に固有の意味を持つ「表意文字」であり、同時に音を持つ世界に例のない独特の「表音・表意」文字です。また音(字音)、意(字義)、形(字体)を漢字の三要素と言います。
- ・そして漢字の魅力は字体の構成にあり、構成を見ればそこには奥深い字義が隠されていることが解ります。そして一字一字に物語があり、漢字に対する好奇心を掻き立てます。

5、漢字の「音」とは何か

- ・漢字には音があります。伝来当初は我が国も中国の発音に近い音で読んでいたようです。しかしその「音読み」は今では殆ど失われています。
- ・「音読み」ですが、同じ漢字でも違いがあります。何故なら日本に伝来した時の中国の時代や地方に依るからです。

発音	伝来した時の時代地方	明	頭	京	行
呉音	中国の呉の国の発音	光明	頭腦	東京	修行
漢音	中国の随・唐の発音	明白	頭髮	京阪	行進
唐音	中国の宋・元の発音	明国	饅頭	北京	行脚
慣用音	誤伝慣用化した発音	消耗 (正しくは耗)、			施主 (正しくは施)

6、漢字の字数と日常生活上の漢字数 (巻末の資料参照)

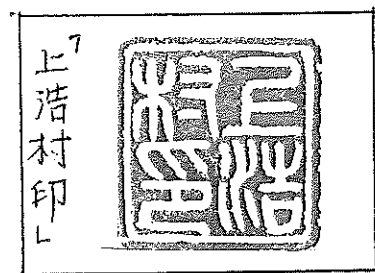
- ・漢字は今から4千年前、中国の蒼頡と言う人が創ったと言われていています。後に許慎と言う人が2千5百年前に多くの漢字を整理しました。正確には分からないほどあります。5万字から8万字という説が有力ですが、生活上こんなに必要はありません。
- ・多くの漢字を収録している事典を紹介します。

- ①『康熙字典』 (1716年清朝55年刊、全ての漢和辞典の基本、典拠本) 47,035字
- ②『大漢和辞典』 (我が国最大の漢和辞典、諸橋轍次著・大修館書店) 49,964字
- ③『漢語大字典』 (中国最大の漢和辞典、1990年監修) 56,000字

- ・私達が良く使う漢字は2,000字程度です。四書五経 (最終章で解説します。) の一つ『論語』には1,355字、同じく『孟子』には1,889字しか使われてないそうです。
- ・我が国の「常用漢字」は2,136字、(資料参照)義務教育(小学校)で教える「学年別配当漢字」は1,006字です。(パソコンにはもっと多くの字数が収録されています。)
- ・また「人名用漢字」があり、660字です。使用許可の旧漢字(360)を含めると1,020字になります。

第Ⅱ章 漢字の面白さ (見ただけで意^{こころ}が解る)

序章で触れた漢字の魅力を具体的に説明します。



1、漢字は合理的に造られている。(P6. 六書^{りくしよ}参照)

- ・漢字は主に象形文字(約600字)と指事文字(100字)をベースに、多くの漢字が造られました。象形文字の「鳥」と同じ象形の「口」とを合わせて「鳴」く、また「木」を2つ並べて「林」、3つ重ねて「森」と言う会意文字を造りました。実に合理的です。
- ・更に合理的に造ったのが形声文字で、実に漢字の9割を占めます。「花」を見ましょう。「花」は艹が化(艹+化)で美しい花になったものです。その理由は「化」にあります。左のニンベン^{くま}は「イ」^{ひと}です。その人が逆さまになった形が、右側の「匕」です。つまり人が変化したことを表した漢字が「化」です。
- ・なお、「会意文字」と「形声文字」の音の比較^{にちげつ}です。「会意文字」では組み合わせた2字のそれぞれの音読みは採りません。(例、日+月=明)「形声文字」は片方の音読みを採っているのが特徴です。(例、金+同=銅)
- ・従って知らない漢字でも、その漢字の左右上下の中に読める部分があれば、漢字の読みとして正答率は約7・8割になります。ここが形声文字の強みであり魅力です。

2、漢字の「偏」から字義が想像できる。

【リ偏^{りつとう}】

- ・「わかる」と言う言葉に漢字を充てると、先に触れた「解」の他に「分、判、別」などの字が挙がります。
- ①「分」は刀でバツサリ紙などを2つに切ることで、従って上部は「八」の形に離れます。
- ②「判」の左の「半」は分けるの意、右の刃(「リ」)でばっさり2つに切り分ける事から、正しいかそうでないかを見分ける意味を表しています。(判断、裁判)
- ③「別」の左の「另」は骨を表します。その骨を刀(リ)で切っています。だから別れは辛いのです。「リ」偏の字は厳しい内容を持っていて、他に「刑・刺・刻」等があります。

3、1つの漢字から他の漢字も連想できる。

【ケン】

- ①漢字を眺めると色んなことが連想出来ます。(特に形声文字)いま「リ」偏を見ました。では何故「けん道」の「けん」が、リットウ偏^{しなひ}の「剣」の字でなければならないのか、「検」ではだめなのか。この場合、剣は木刀や竹刀などと違い、本当の「刀」は鋼^{はがね}です。だからリットウ偏の「リ」なのです。(注、刀は「リ」)
- ②「真ケンに答えなさい！」の「ケン」はどのケンを書くか、「真」は何を指しているのか分かれば間違いません。
- ②他の「ケン」も気になります。「験、険、儉、検」のこれらのケンは、左の「馬、卩、イ、

木」の各偏（意譜）によって意味付けされています。経ケンの「駿」は馬が辿った跡が残ることから出来た漢字です。他の「ケン」も同様の理由が潜んでいます。

【コウ】

①この様に漢字は他の漢字と関連性を持っています。だから誘われます。「コウ」と音読される「講、購、構、溝」の字群も、眺めていると興味が湧いてきます。

【水】

- ①「水」の意を含む漢字には^{サンズイ} ㄣ がつき「海」や「池」など数多くあります。
- ② ㄣ も面白いです。「凍る」の字を見ましょう。水が固まってギュッと縮まった状態だから、ㄣ から点が1つ取れて^{ニスイ} ㄣ になったのではないかと想像しています。「冷、凜、冴」などの漢字もギュッと締まった感じを与えます。ここが漢字を想像する面白さです。

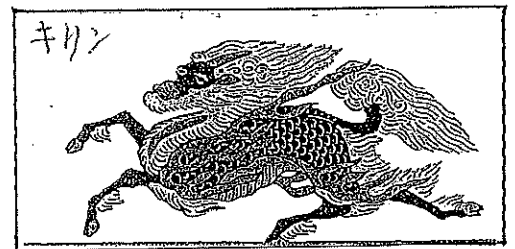
【相】

- ①「相」は、木の姿（木目）を見ることです。（類例：手相、人相等）、「想」は心に物の姿を見ることです。こうして見ると「相」には全体を「眺め渡す」という意味があります。ここから首相は政治全般を、外相は外交等の主管事務を総覧する意味が「相」にあります。尤も「霜」や「孀」等に付いている音符の「相」は「喪」に通じ、失う意味を持つるので上述の「相」とは違います。（「霜」は万物を枯らす意味であり「孀」は夫を喪った未亡人を表します。）
- ②この様に漢字はその音符と意符の組み合わせから、そこに含まれている深い意味を想像することが出来、好奇心を掻き立てます。

4、漢字の深さを知る

【靈獣】

- ①キリンは現実に生息している動物だが、漢字表記の「麒麟」は想像上の4靈獣の1つです。キリンビールのラベルがその麒麟の図（右）です。面白いことに「麒」も「麟」も単独で「きりん」と読みます。前の「麒」は雄、後の「麟」は雌を指しています。面白い熟語ですね。
- ②「鳳凰」も同じで、前の「鳳」が雄、後の「凰」は雌を指しています。
- ③ 序でに残る2つの想像上の動物はどうでしょう。ここが漢字の広がりであり魅力でもあります。「龍」と「龜」です。尤も1字なので雌雄の別はありません。
- ④中国ではこの4つ靈獣を古来から吉瑞を齎す動物として崇められ、日本でも神社仏閣の



装飾に採り入れたり、絵画・掛け軸等に描いたりして大変珍重している霊獣です。

- ⑤因みに「獅子」も霊獣ですが、前述の4霊獣とは区別され、神社の入り口に魔除の「狛犬」として使われています。向かって右側に口を開けて座っているのが阿像で獅子です。左側に坐っているのは口を閉じた吽像で狛犬です。2つ合わせて阿吽像と言ひ「阿吽の呼吸」の語源になっています。

【毎】

- ①つゆ空の「つゆ」は漢字表記では「梅雨」と書きます。なぜ「梅に雨」なのか、「毎」の字にその秘密が隠されています。
- ②昔の中国では女性は結婚すると髪を髷に結び上げました。「𠂔」がその髪型を表す象形文字です。下にある「母」の字は、いつでも子を沢山産める既婚の女を表しています。ここから「毎」は「いつも」とか「沢山」という意味を表す漢字なのです。
- ③では「うめ」はどうでしょう、梅は沢山の実をつける事で知られる木です。そこで木+毎で「梅」の字が出来たのです。
- ④一芳、来る日も来る日も雨が降り続く「つゆ」時は、まるで梅の実のように雨が多いことから、梅と雨を合わせて「梅雨」と言う言葉が生まれたのです。訓読みでは「つゆ」と読みます。（幾つかの異説もあり、例えば「梅の熟する季節」だから梅雨とした説も…。）
- ⑤「毎日」の「毎」は「来る日も来る日も」という意味です。「海」は右側に「毎」が付いていることから、水が沢山集まっている意味になります。「梅」は梅やんでも悔やみ切れないから、右に「毎」が付いていると思います。このように漢字は実に合理的に造られている上に、深い意味を内包しており夢もあると感じています。

【取】

- ①「取」るは恐い字です。耳+又で「取」るだが、「又」は右手、または右手に持った鎌を表しています。この字の成り立ちは…むかし戦争で敵を殺した場合、首を取って大将に差し出し、その首の数によって恩賞の手柄を争ったのです。
- ②しかし首はとても重く大将の居る所まで運ぶのは≡苦勞です。そこで「首はいい、敵の左耳を刀や鎌で搔いて来い」と言われ、耳を差し出した。これが「取」の字の由来です。

【道】

- ①道には多くの意味があります。「みち」、「すすむ」、「すじみち」、「正しい」、「説く」等です。総じて良い意味で使われています。例えば「道徳」、「文武両道」「茶道」とかであり、厳かで凜と背筋を張る意味合を持っています。
- ②しかし原義は怖い字です。敵を征服した時にその死者の首を道に埋め、その靈力で道を清めたのです。道だけではなく獲得した領土にも敵の首を埋め神聖視したと思われます。
- ③改めて道の字をよくご覧下さい。𠂔は彷徨う意味です。首が道々に彷徨っているの

す。敵を征服することは、その死者の霊の力も利用すると同時に、鎮魂の意味も含まれていると思います。

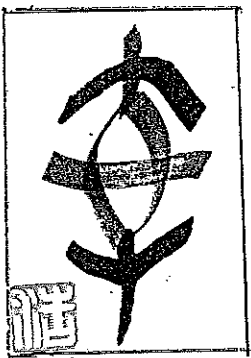
「祭」

- ①「祭」りの字をよく見て下さい。「月」(生贄の肉)と「又」(右手の象形)と「示」(生贄を捧げる祭壇を表す)から成り立った象形文字です。つまり「祭り」とは、生の血肉の臭いが蔓延する中で執り行われる儀式です。だから人々は異様に興奮し、狂おしく踊り回り、掛け声を出し、命がけで御輿を担ぎ、山車をぶつけ合い、そのエネルギーで神へ祈るのです
- ②神に祈る時は捧げ物の生け贄だけではなく、呪いや祝詞を口誦みました。この場面で登場するのはその種族の長老、俗に言う「聖」です。
- ③「聖」(ひじり)は口 + 壬(みずのえ)から成り立つ形声文字です。「口」は神への祈りを表し、「壬」は背伸びした人の象形文字です。
- ④耳をそばたてて神意を聴き取ることの出来る人、つまり超人を聖と言います。聖は神に次ぐ位であり、両者を称して「神聖犯すべからず」と言う言葉があります。

【幸】

①もう一題怖い話があります。「幸」の漢字です。どんな物語が隠されているのか、危機から逃れた間一髪の漢字を見てみましょう。

- ②「幸」は罪人を処刑する際の道具、手枷(手械、手桎とも書く)の象形文字です。執行の「執」の字を見て下さい。右側の「丸」は罪人が跪いている様子です。「幸」は手械だけの字で死刑にはなりません。「執」は捕らえら手械を填められている死刑囚です。だから「幸」は、死の一步手前の「しあわせ」な状態を表す字なのです。これは驚きです。「幸せ」は「死」と隣り合わせであると言う事を思い知らされるからです。怖い字です。そう思うと今の「幸せ」を一層噛み締める必要があると思います。



幸



執

③関連の漢字に「倅せ」があります。「倅」

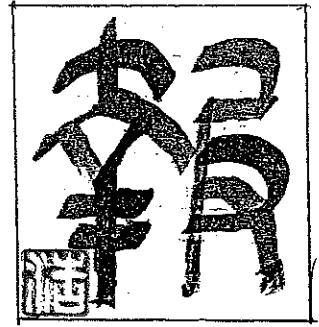
のニンベンは、思いがけず助っ人が現れた幸せを意味しています。熟語には「僥倖」「薄倖」「射倖心」などがあり、幸福度にやや陰りを感じさせる字です。

- ④「報」にも「幸」が含まれています。(次頁右上参照) 甲骨文字を見ると座っている罪人が手枷を嵌められ、更にその罪人をもう1人が手で押さえています。罪人を刑罰に服させるのが「報」の原義であり、罪に対する報復刑です。罪に応じて刑罰を下すのが「むくいる」です。後に報告の意味の「知らせる」や、恩に「報いる」等と使われています。

【秋】

①秋 ^{たけなわ} 酣の「秋」です。「秋」の字の右の禾 ^か はノギ偏と言い、「イネ」の意味であり、広く穀物や植物を表すヘンです。

- ・秋の意味は何かと言うと、秋は ^{かみ} 龜が獲れ、その ^{こうら} 甲羅に火を近づけ、出来た文様から収穫を占ったとする説と、収穫し終えた田畝に火をかけて、翌春の ^{よえん} 土壤造りをしたと言う2つの説があるが、一般的には後者の説が敷衍（^{ひろ} 拡がっている）しています。



- ②「天 ^{てんたか} 高く馬 ^{うま} 肥 ^こ ゆる秋 ^{あき}」とは…「穀物の収穫もあり、飼料も豊富で馬は肥え元気になった！秋空はどこまでも青く時は熟した！さあ今がチャンスだ！あの万里の長城を見よ、敵が長城を越えて襲って来るぞ！」と言う注意喚起・警戒の言葉です。敵とは北方 ^{きやうど} の匈奴や羌 ^{きやうせき} 族などの騎馬民族です。
- ・この ^こ 故事から「秋」は「トキ」とも読み、時期到来を表します。例えば「政治決戦 ^{とぎ} の秋」、「決断 ^{とぎ} の秋」…などと使います。

- ③また秋は読書の秋でもあります。以前の電車の中は本を読む通学通勤の人が一杯いました。知識や見聞を獲得する貴重な時間が車内でした。「自分を創って」いたのです。
- ・それが今過去形で書かなければならないのは残念です。読書は家柄や学歴とは一切関係なく、自分を向上させる機会だったが、いま車内の空間や時間はスマホで占められています。

5、孤立していません！（漢字の成り立ち）。

- ・一つの ^{もとじ} 元字は次々と新しい字を産んでいることが分かります。孤立した漢字が一つも無いと言うのはこの事なのです。幾つかの典型的漢字を紹介します。

【羊】（元字）

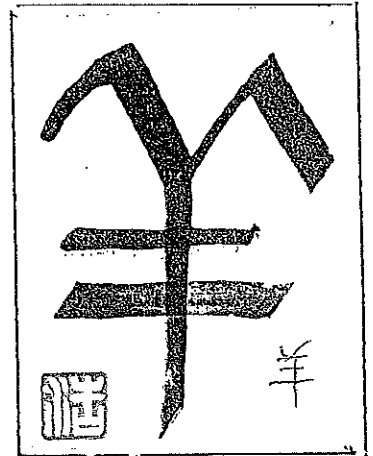
- ①「羊」は私の取って置きの漢字です。漢字の中でも重要な漢字と思っているからです。
- ②「羊」は肉が軟らかく美味しいし、乳や毛も沢山とれます。このことから古代中国では羊は「良い」動物と言うイメージが定着し、大きくて立派な羊は更に ^{ひつじ} ウツクシイと言う付加価値が付くようになりました。この事から「羊 + 大」で「美」と言う漢字が出来たのです。和語の「美味 ^{おいしい} しい」の表記に「美」の字が使われているのは、ここから来ています。

【義】

- ①だが漢字の面白さはここからです。「義理」「会議」「儀式」「犠牲」の「ギ」に「義」の漢字が使われています。しかも「義」の字の上には「羊」が乗っています。
- ②「羊」は先に触れたように、「良い、美しい、立派」と言う意味を持っています。義は「羊 + 我」です。ここから考えられるのは「自分は人に恥じない立派な人である、いや、

立派でなければな

らない、だから義理を欠いてはいけない。」という意味が隠されており、何か厳粛な「覚悟」のようなものを背負っている字です。



③会議の議は「言+義」、ヤジを飛ばしたり、誹謗中傷したりする応酬ではなく、真摯な態度で相手を尊重しながら、立派に会議を進行して欲しい願いがこの字から感じられます。

④儀式は厳かな集まりです。各自が立派な自分(= ^{ニンベン}イ)を持って式に臨まなければなりません。その雰囲気「儀」の字から伝わり、ある種の「堅苦しき」も感じます。

⑤「犠牲！」悲しい漢語です。「牛」を神様のお供え物として、生け贄にされることを表したのが「犧」です。従ってこの犧の右の「義」には「止むを得ない、残念だ！だが皆のために仕方がない！」と言う遣り切れない気持が含まれています。下の「牲」も生け贄です。「生きた牛」の運命は「犧」によって既に決定づけられているのにも関わらず、さらなる「牲」の字で追い打ちを掛けています。「犠牲」は悲劇そのものの熟語です。

⑥それもその筈です。遂に「義」の正体が曝かれたのです。下の「我」は「ギザギザの刃を持ちつりノコギリ」の象形文字です。そして神にイケニエを捧げるために、その刃で上の羊を殺すさまを表したのが「義」の正体なのです。いやァー「義」は恐い字です。

⑧反面、「義」は訓では「よし」と読み人名によく使われています。源義経の「よし」もそうです。真面目、秩序正しい、良い、美しい、立派などの良字のイメージが非常に強い漢字です。上記で述べた様な悲劇のイメージとは真逆になっており、不思議な漢字です。

【主】(元字)

- ①「あるじ」と訓読みされる漢字です。漢和辞書に依ると燃えている蠟燭の形を象ったと書いていました。象形文字です。蠟燭の炎が真っ直ぐにじっと立っている姿です。
- ②「柱」偏は木ヘンです。木が其処に静かに動かず立っている様です。
- ③「住」偏はニンベン、人です。住むと言う事は彼方此方に行かず、其処にじっとして居る事です。
- ④「駐」馬ヘンです。其処に駐まることです。駐車、駐車場、駐在の謂です。
- ⑤「注」は少し難しいです。著名な漢字学者である藤堂明保先生の説によると、注がれる水の形は一つの柱のように見えるからと話されています。成る程、納得です。

【伯・仲・叔・季】

①叔父、伯母と書く場合の「叔」と「伯」はどのように使い分けるのか、御存じでしょうか。

②この四字は兄弟姉妹の長幼を表しています。

「伯」→長男（長女）「仲」→次男（次女）「叔」→三男（三女）「季」→四男（四女）

③「伯仲している」とは、極めてよく似ている。実力に差はないことを表しています。理由は長男と次男はとても近い関係にあるからです。

④「叔父」を使う時は、自分の両親がその方の兄姉に当たる時、「伯母」を使う時は、自分の両親がその方の弟妹に当たる時です。

⑤「季」は「すえ」とも読みます。末っ子の事です。季子とか季夫の名前の場合、もしかしたら四番目か末っ子を表しているかも知れません。（他に、ひでの読みもあります。）

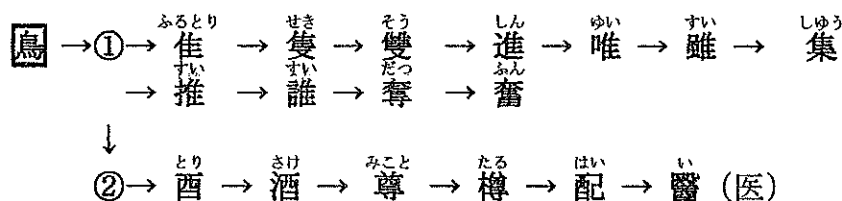
「鳥」「隹」「酉

①「鳥」が元字になって、「隹」と「酉」が准親字になっております。下記の字の配列をご覧ください。

②「鳥」の字は鳥名を表す時に使われます。（鶯、鷹、朱鷺など）他の意味での「とり」を表す時は、鳥を象形化した「隹」を使っています。

③「隹」も私の頭の中では「羊」と同じように、重要な漢字として位置付けています。音読は「スイ」です。この隹は「旧」の旧漢字「舊」を見て下さい。字の真ん中に隹が入っています。そのため我が国では「ふるとり」と読んでいます。そしてこの「隹」の含む漢字は沢山あります。

④「とり歳」の「鳥」を干支では「酉」と表記していることが多く見られます。音では「ユウ」と読みます。「酉」は酒器の酒壺や酒樽を指します。ここからも様々な漢字が生まれています。（下記をご覧ください）此处では紙数が重なるので解説は省略しますが、一字一字にとっても面白い物語が隠されています。挑戦して見て下さい。



【犬】は生贄の動物であった？

①犬はペット動物です。1万年以上も前から人間に飼われ、猫より古く人間の側に居たとされています。

②しかし「犬」を含む漢字を見て下さい。何か不気味であり残酷さが伝わってきます。犬を元字にした漢字を少し紹介します。（参考、犬がヘンなものが「犴」です）

- ③・献→獻（奉る、捧げる）犬の頭部を甌の形にした象形文字。犬の血を甌の皿に塗る。
- ・祓→（はらい）犬を生贄にして殺す象形文字。
- ・鞞→（ゴミなどを祓い清める革製の膝掛け、祭服）
- ・鞞→（災害を取り除くの意味。道祖神を祀る事）
- ・猷→（はかる、はかりごと）
- ・厭→（嫌がる、飽きる）

- ④未だあります。全部「いぬ」に関係しています。列举しますので、「隹」と同じように挑戦して見て下さい。
 (下線の字は「犬」ではなく「大」の字になっていますが、これは戦後の漢字改革で犬→大に変えられてしまったのです。意味は犬です。)

戌 戌 越 越 然 燃 就 状 伏 臭
 嗅 大 器 突 辰



【魂・魄】訓読ではどちらも「たましい」と読みます。どう違うの？

- ① 魂 心の部分、死して肉体から飛び去り空中を彷徨い、
 懸てある動物に漂着すると言われ、
 います。だから同じ顔している人を見かけるので
 す。熟語には「靈魂」など多数あり。
 ② 魄 肉体の部分。死して肉体に留まり、腐り、最終的には白骨になり懸て朽ちます。熟語
 には「気魄」等ありますが、今は「気迫」と表記することが多くなっています。

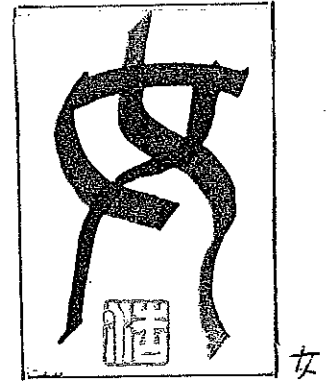
【穫、獲】 どう使い分けるか

- ①入試などによく出題される漢字です。字義は前字「刈る」、後字「獲る」です。
 ②偏で区別します。禾(ノギ)ヘンは植物(特にイネ)を表し、犛(ケモノ)ヘンは動物を表します。
 ③唯、辞書で「シュウカク」と引くと「収穫」と出ます。逆に「カクトク」と引くと「獲得」と出て、「穫」の字は出ません。犛ヘンの「獲」が使われるから注意しましょう。

5. 楽しく漢字を理解するコツは、部首に注目。

- ①同じ糸ヘンでも、幾つかのパターンあります。これが良く解ると漢字の使い方が面白くなります。(例、フソウは→「紛争」か「粉争」か。「競走」と「競争」はどう違うか)
- ②「糸」偏の付く漢字の意味は、整理、細い、混乱の三つと着物の意味に大別出来ます。
 糸ヘン → 編集 細心 紛争 絹 織物 <あむ、こまかい、もつれる、きぬ>
- ③ 冫ヘン → 時刻 解剖 印刷 利用 理解 <きる、きざむ、するどい>
- ④ 米ヘン → 粗末 粗茶 粉末 <あらい、こまかい>
- ⑤ 戈づくり → とてもややこしいヘンです。しかし覚えておくと字の原義まで解ります。
 ・戈→カ、ほこ ・戌→ボウ、つちのえ、ほこ。 ・戌→ジュツ、いぬ。 ・戌→エツ、まさかり
 ・戌→シュ、まもる、戈を持っている。 ・戌→ジュウ、えびす、いくさ。

第三章 「オンナ」偏への疑問 (漢字への興味の原点)



1、「オトコ」編の字は無い？

- ・序章で述べた「オンナヘン」です。中学生の頃、「好き」とか「嫌い」とかの漢字に、オンナの字がついてオトコの字がつかないのは何故か、とても不思議に思いました。「嬉しい」にも「怒る」にもオンナが付いています。同じ人間として男も女も均しく喜怒哀楽の感情があるのに、どうしてだろうと疑問になり調べました。驚きました。オトコ偏を部首とする漢字が1つもないのです。辞書を捲つても「男」の付く字は、P5で既出した「甥」と「勇」の他に「舅」ぐらいしか見当たりません。「舅」の部首は「ウス=白」偏です。これに対しオンナ偏の漢字は約150字、略字を含めると200字を超えます。

2、男尊女卑が「オンナ」偏に反映か？ (オンナ偏漢字表参照)

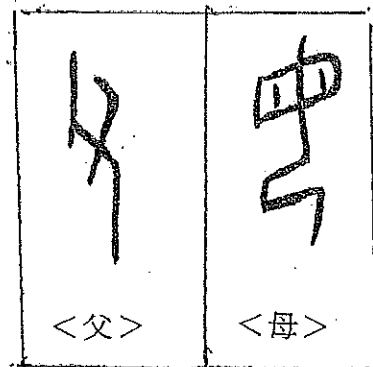
- ・オンナ偏の漢字をよく見ると、男の「目線」を強く感じます。それは男が女を支配する目線です。そしてオンナ偏の漢字を見れば見るほど、そこには男尊女卑の思想が貫かれているように見え、漢字が造られた時代が男性上位の時代であったことを伺わせます。
- ・象形文字を見て下さい。女が跪いている形です。女性が男性に隷属させられている姿が文字に反映されています。男女が共同で食べるために協力して働き、収穫を公平平等に分配していた時代、つまり原始共産主義社会の時代に漢字が生まれたのなら、もう少し違ったオンナ偏の漢字が出来たように思います。

3、男女差別は何時どのように始まったのか

- ・男女差別がいつから始まったかは定かではありません。物の収穫や生産の増大と共に、人類は蓄えるという画期的な文明を生み出しました。同時にそれを管理したり他の物と交換したりする経済が発達しました。
- ・しかしやがて物の奪い合いが始まり、「力」が社会を支配する道具になりました。ここに男の優位性が生まれたのです。争いごとの頻発は更に男社会の支配体制を強めていきました。それまでは出産、生命の再生などの神秘的難事業をこなす事の出来る女性に、男性は憧れを持っていたのです。
- ・ところが漢字の生まれた頃の中国では、もはや女性の優位性は崩れていたのです。次頁右上の「父」の象形文字を見ると小さな斧の形が見えます。父親の力のシンボルは斧です。
- ・家長は斧を持っていたのです。（「父」の字は元は斧を意味していたが、「父」の字が父親を表す事になったため、改めて斧の字を作りました。それが父+斤=「斧」です。）
- ・これに比べて「母」の字の格は低い。女を表す漢字は2つあり単にオンナの場合は「女」、授乳しているオンナには「母」の字を充てました。右の母の金文文字を見て下さい。女と違う点は、左右に黒ポチの「・」が有るか無いかです。この「・」は乳首を表して母を強

調しています。母親は結婚しているので、既述したように未婚者と区別するため鬻を結いました。このため男は結婚相手を簡単に見つける事が出来たのです。

金 文



4、オンナ偏の漢字を見る（「婚」「嫁」「婿」「婦」「妾」）

①結婚の「婚」の字は、「女」と言う意味を表す意符と、音を示す音符の「昏」から成る形声文字です。「昏」もよく見ると、太陽を表す「日」と人の足元を表す「氏」から成っています。つまり太陽が足元に落ちる時は夕方です。結婚は夕方にしたのです。

・もともと当日は花婿は花嫁を家まで迎えに行く仕来りがあり、色々な準備のため朝から忙しく、道中は歓迎や挨拶等に時間が掛かり、どうしても花嫁宅に着くのは夕方になった事から、漢字を「婚」にしたと言う説もあります。

②「嫁」は結婚して家に入る女のこと言います。だから「嫁」の字は女と家から成り立っています。一人の人間としその女性ではなく家に嫁ぐ事が主であり、働き手としての役目があります。これも女性差別の文字です。

・因みに「婿」は娘と同居する男を指しています。つまり「娘の男」と言うことでオンナ偏がついたのです。従って婿の字体から、労働や家に縛り付けられる字義を見出す事は出来ません。

③20年前あたりから差別漢字として「婦人」の「婦」が挙がりました。各自治体は「婦人会館」から、「女性会館」等に名称変更しました。

・「婦」は差別用語なのか、右の上の字を見て下さい。女が「箒」を持っています。つまり清掃労働する女を現したのが「婦」の字であり、女の奴隷を思わせる字でもあります。

・だが実は最高の女性尊称の文字という見方もあるのです。調べて見ました。古代中国では先祖の宗廟（仏壇）を守り掃き清める神聖な仕事は、その家の主婦の特権あり、他の人には許されていなかったのです。ハウキも庭や家を掃く単なる箒ではなく、仏壇等にお神酒を注いで掃き清める払い仏具と言うことです。これから考えると「婦」の漢字は、オンナ偏の中では珍しく、最高に良い字と言うことになります。

④格の低い漢字に「妾」があり、音読みではショウと発音し妻以外の女を言います。「妾」の字は「辛」と「女」から成る会意文字です。

前頁の文字は罪人や奴隷などの額に入れ墨を入れる針の象形です。それを簡略化した漢字が「立」です。従って「妾」は入れ墨をされた女奴隷を表しており、卑しい女性を蔑む漢字です。因みに「童」は「妾」の対義語で、男の奴隷と言う意味です。

⑤なお女性は自分を謙遜する言い方として、『妾』と言ひ方があります。ところで「めか



け」と言う言葉は和語です。漢字は「妾」を充てました。「めかけ」とは、密かに男が「目を掛ける」ことから出来た言葉で、日陰の女の立場を表しています。

- ・余談だが古代中国では、【女の一生】を次のように描いていたようです。(資料参照)
始、娘、婚、姻、妊、娩、姫・婢、姉・妹、嬢・婦、孀(鼻につく)、姑、姥、婆

5、女性から「差別だ！」との声は聞かれない？

①オンナ偏の漢字は男の視点から造られていると述べてきました。だが肝心の女性からはオンナ偏の漢字を見ても、「これは変だ、女性差別だ！」と言う不平の声は聞こえて来ません。何故なのか不思議に思います。偶の機会を得て女性にこの話をすると、「へエ、そうなの」と興味を持ってくれますが、それだけです。騒いだでも今更仕方ないと割り切っているからでしょうか。

⑤オンナ偏の漢字を見ますと、その構成から4点に分類できます。(1)女の「美・醜」と言う視点、(2)女を「差別・蔑視」する観点、(3)「性的」な関心、(4)「その他」の4つです。資料を見て下さい。分類を始めたものの中断した儘にしています。約200もの女偏漢字を、そう簡単に分類など出来ないことが分かりました。理由(1)作業自体が新たな女性差別に繋がらないか。(2)漢字は複数の観点を併せ持っていること。(3)逆に良い観点を分類出来ないものか。(4)当時の漢字制作者に果たして女性蔑視の感情があったのか否か、熟考する必要を感じているからです。



<妾>

③またオンナ偏の漢字を、「差別の漢字」だと主張している漢字学者を寡聞にして聞いたことがありません。少なくとも公に発言している学者はいないように思います。従って私の勝手な思い込みということなのか…、思い込みでは無いと自分を信じていますが…。

- ・そう信じる典型的な字があります。左の「妾」の字です。冒頭でも触れた「説文解字」に依ると、「妾」の字義は『素直に従うさま』とあり、女+禾の会意文字です。「女」は従順な性を表し、「禾」は稲穂の垂れるさまを表し、転じて「萎れる、萎縮する」とあります。

- ・「オンナ偏」を終えるにあたり後尾の資料・女漢字表をご覧下さい。手書きですが解答を付けました。読めない漢字も多いと思います。

第二考 (国語・漢字教育を憂ふ)

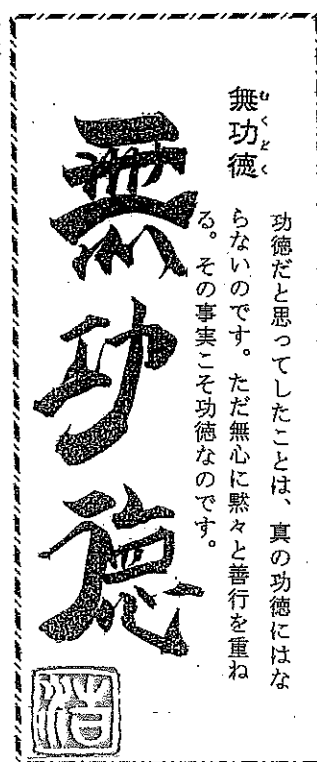
第IV章 国語力の低下は日本の国力の低下を招く

1、和漢混淆文の魅力 (漢語の効用)

①漢字や漢語が和文の中に果たしている役割は絶大です。唱歌の歌詞に見られる和語の美しさ、古典文に見られる流麗な文体と柔らかさ、そこに歯切れの良い漢語が加わったのです。所謂和漢混淆文です。これが日本独自の綴方で千数百年続い

て来ています。

- ②漢字は漢字だけの漢文では難解だが、仮名表記の和語の中に有ると物事を的確に表現したり文章を簡潔にしたりします。そして文章全体を力強くし、適度な緊張感を漂わせながら様々な意味の拡がりを持たせます。更に漢語は和語の軟らかさに凛とした気品を添え、文章を整える働きもしています。換言すれば和語との絶妙なるコラボレーションを演じているのです。
- ③このように考えると、漢字は中国から伝来した外来文化だが、古来から和語に良く調和し、豊かな語彙文化を形成してきました。この語彙の齎す力が日本人の心の骨格と血肉を造り、日本の美しい風土を象徴的に著す「山紫水明」「白砂青松」「花鳥風月」「雪月花」等の言葉を産み出してきました。この意味で漢字は立派な日本文化と言えるのです。仮名も漢字から生み出されました。
- ④こうして見ると、難しい漢字を日本的に使い熟してきた先人の英知と努力には、頭の下がる思いがします。それなのに今、日本の国語力は確実に低下しつつあります。その理由を述べます。



2、語彙の決定的不足

- ①戦後の教育は第一の基礎教科である国語教育を軽視してきた嫌いがあります。古典文学は美しい和語で綴られています。この大和ことばは日本人の「心の魂を揺り動かす」ものを持っています。耳にすると心が和みます。故郷の駅に降り立った時のあの安らぎにも通じます。それは一つ一つの言葉に優しい情緒の響きがあるからです。
- ②ところが近年、日本語が崩れてきています。刹那的で感覚的な単語の羅列で会話はないのです。会話の貧しさの原因は、語彙が決定的に少ないことにあります。
- ③言葉遣いが乱れているのは大人社会でも見られます。無味乾燥なお付き合い言葉が多く聞かれます。特に電波を通して瞬時に全国に視聴されるテレビ番組、果たして言葉文化に耐え得る会話を司会者やタレント達は心得ているのでしょうか、娯楽番組とは言え許されない言葉遣いを、耳にすることがあるからです。
- ・彼らに共通しているのは、相手や聞き手の受けを狙うための言葉だけです。しかしその言葉は宙に浮いて仕舞い、言葉に深みや拡がりがありません。勿論品性もありません。しかし根本的には決定的な語彙不足です。
- ④さらに深刻なのはケイタイやスマホでの、一方的な単語の発信（通行）です。言葉貧乏を助長しているからです。この結果、温かい会話が日常生活から少しずつ消えていくのです。心も魂も入らない言葉の交換が、やがて物の考え方を変質させて行くのではないのかと危惧します。（杞憂であれば良いのだが）

3、母国語の衰退が国を滅ぼす

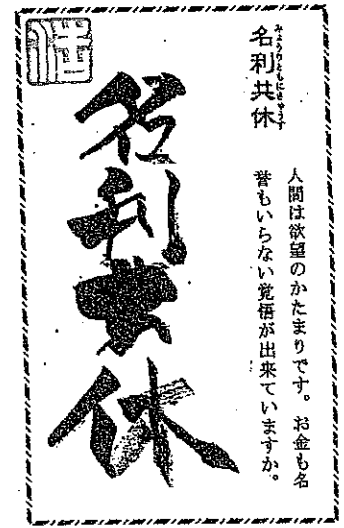
- ①この現象は論理的思考や、客観的思考が出来なくなっていることから生じています。その

ため心にゆとりや潤いが無く、コミュニケーションはギスギスし、人間関係があらゆる所で蝕まれているのです。この殺伐とした世相の真犯人は、実は日本語の軽視・劣化にあるのです。このままだと亡国の道を進むこととなります。国は戦争の惨禍を受けても、飢餓や貧乏に喘いでも滅んだ国は古今東西無いと言われます。母国語を失ったり母国語を粗末にしたりして、母国語を中心とした固有の文化が衰退した時に滅んでいるのです。

- ②為政者はこのことにどこまで気付いているのでしょうか。気付いていないからこそ日本語が未だ定着していない児童に、「英語教育だ！」などと騒いでいるのです。欧米の知識人の中には、「どうしちゃったの、日本は？、羨ましいくらい優れた日本文化を捨てて！」と心配する向きもあると聞きます。本当は嗤っているかも知れません。
- ③さて漢字は別名「漢ことば」と言い、古来から「真名文字」と呼ばれ、正式な文書は漢字で書かれました「大和ことば」は「仮名文字」で書かれました。既に述べたように漢字は仮名の柔らかさや優しさは無いものの、豊かな意味（字義）を内包しています。
- ④例えば「みる」を漢字で書いて見ましょう。「山を見る」「体を診る」です。使い分けが出来ます。他の「みる」には「視・観・看」があり、これらを正しく使うことで表現力と語彙力が豊かになります。使い方が分かれば楽しくなります。心も豊かになります。
- ⑤ところがこの漢字の運命が変わろうとした時がありました。米国の占領時代GHQは、日本語や漢字を駆逐して英語化を進めるため、先ず当用漢字を制限しました。漢字全廃への移行措置を進めたのです。そして全ての記述をローマ字表記にしようと検討したのです。幸いこの戦勝国に依る愚民化政策は、実行されることはありませんでした。
- ⑥だが数年前、国立大学教育に「文化系はいらぬ！実用的で生産活動に役立つ理数系教育がいい！」と言う教育政策を高らかに謳い上げ、物議を醸しました。文科省が国立大に要請したものです。各大学は大いに戸惑い、中にはその要請に応じてカリキュラムの変更をした大学もあると、メディアは伝えました。後で文科省は「文化系はいらぬ！なんて誤解です、そういう趣旨ではない」と伝えられました。
- ⑦しかしこの文科省の通達は各分野に大きな波紋を広げ、経団連の会長が「文科省は何を考えているんだ、文学や歴史の分からない社員は要らない、パソコンや数学に滅法強いだけでは人間としてもビジネスにしても、融通性や柔軟性を欠く嫌いがある、端からそのような大学生は雇わない！」と言う趣旨の発言をしたのです。
- ⑧政府はグローバル化している経済社会に、少しでも役立つ人材を育てようと目論見、経済界の意向に斟酌した形だったが、何と一番感謝して欲しい肝心の経済界からこの発言です。他分野からも反発されました。
- ⑨だがこの後の展開は文科省の発言通りになりつつあります。各大学は既に政府の底意を知ってしまったからです。表向きは兎も角、次第に即戦力としての人材養成教育が時代の波になることを察知しているからです。
- ⑩この文科省の発言を採り上げたのは、前述の「早期英語教育の導入」政策と通底しており、軌を一にしているからです。これも一種の愚民化政策と考えます。

4、早期英語教育の導入は間違い

- ①我が国ほど自国語の学習時間の少ない先進国はありません。中学校では週4時間です。小学校はもっと多いがそれでも戦前の半分以下です。欧米諸国は中等学校になっても10時間以上あります。彼の国々は知的活動の基礎は母国語の語彙を身につける事であり、その事が国民の思考力や判断力を高め、国の維持発展に繋がる考えているからです。
- ②確かに国語教育に依って簡らす効果はとても大きく、全ての教科学習の向上に直結し、情緒的能力は勿論、論理的思考能力、判断力等を豊かにします。何より想像力や創造性と言った最高レベルの知的活動を育みます。
- ③日本を代表する著名な数学者であり、しかも数カ国語を駆使する藤原正彦氏は、『若い時にあの膨大な語学の勉強時間を、もし日本の古典に振り向けていたなら、どんなに素晴らしかったのか』と話されています。
- ④藤原氏の声、なお響きます！『英語イコール国際人では決してない、そう考えるのは間違いです。真の国際人は自国の伝統文化と、その精神に精通していることであり、自分の考えを自国語できちんと述べられることです。その事が流暢な英語とは比較にならない程重要な要素である。』と。
- ⑤言われるまでもなく私達日本人は、^{しろくじちゅう}四六時中日本語で物を考え、日本語で感情を捉え、日本語で判断しています。決して英語やその他の言語でものを考え話してはいません。だが昨今、国際化だ！グローバル化！などと騒ぎ、英語教育こそ日本を救う道であると政府も産業・経済界も吹聴し、遂に小学校から英語教育が始まるようになりました。英語を話せる事には少しも異論ありません。むしろ素晴らしい事です。
- ⑥しかし自国語も満足に話せない子供達が、学校から多数輩出（卒業）されていく中で、国語の時間を削ってまで、何が英語ですか！と叫びたくなります。外国の有名な芸能人やスポーツ選手は、よくTVインタビューで堂々と自国の伝統文化や歴史について語っています。日本選手の会見では余り見られません。この差は自国語と自国の文化に知識と誇りを持ち、敬意を抱いているかの違いにあると思います。



第V 漢字教育を重視した「国語教育」が、日本を再生させる

1、粗末な漢字政策は残念

①中国の簡体字政策と日本の漢字制限（次頁参照）

漢字文化の足元が70年も前から揺らいでいます。漢字の本家中国では漢字をどんどん簡体化しました。10億を超える人口、極端に低い識字率、政治経済の発展、文化・科学技術の振興に漢字の読み書きは、近代中国の喫緊の重要課題でありました。

②毛沢東は国民に先ず読める、次に書ける様にしなければならない、そのため正体字である繁体字（旧漢字の事）を簡体字にしたのです。従って簡体字体から本来の字義を読みとる

事は難しくなりました。世界に冠たる素晴らしい文字と評価される漢字、それが字義を失い単なる記号的な表音文字化したのは、とても残念です。

- ③既に朝鮮半島はハングル文字に変わり、漢字は人名ぐらいにしか使っていません。ベトナムはもっと昔から漢字を止めています。尤も韓国の知識人の間では近年、漢字の復活を呼び掛けているそうです。理由は朝鮮の歴史や文化は漢字表記であり、その文献が読めなくなってるからのようです。因みに韓国語はその語彙の7割が漢字に由来しているそうです。
- ④幸い台湾や香港は本来の字体（繁体字）を守っているのが救いです。日本は戦前まで繁体字を使っていたが、現在は新字体（＝新漢字）を使っています。従っては漢字本来の原義が分からない字も沢山存在します。（例えば 體 → 体）

⑤三体字について

繁体字（正体字）現在、台湾、香港、マカオ、華僑で使用。嘗てはベトナム、マレー（旧漢字）シア、シンガポールも漢字文化圏であり、使用していました。台湾は「簡体字は漢字の芸術性を喪失している」と主張しています。

新字体 戦後日本は繁体字を主体としながらも、独自の簡略字（「新漢字」）も併用しています。韓国はハングル専用政策で漢字は殆ど使われていません。

簡体字 中国、1,956年、文字改革制定で繁体字を簡略化し約2,000字を造る。しかし国民の識字率が上がり、パソコンの普及もあって簡体字廃止論も出ています。ただ中国政府は「現行の法律が認める文字は簡体字のみ」の立場をとっています。

< 3 体字の一例 >

繁	台	華	經	應	處	圖	廣	樂	轉	簡	書	為	峇	個	漢	見	電	遠	眾	車	門	發	髮	豐	單	無	義	機	學	國	專	飛
新	日	華	經	應	處	圖	廣	樂	轉	簡	書	為	時	個	漢	見	電	遠	眾	車	門	發	髮	豐	單	無	義	機	學	國	專	飛
簡	中	華	經	應	處	圖	廣	樂	轉	簡	書	為	時	個	漢	見	電	遠	眾	車	門	發	髮	豐	單	無	義	機	學	國	專	飛

⑤漢字制限は言葉への冒瀆である

・国語審議会が漢字制限するのは仕方のない事です。難しい漢字が多くあるからです。しかしせめて常用漢字を3,000 字程度まで広げて欲しいと思います。その漢字を全部書けなくても読めなくてもいいのです。公文書に使えるようにすることが漢字文化の継承と、国語文化の普及に多大に貢献すると思うからです。1人でも多くの国民が漢字を理解し、使うことが大切なのです。そうしないから次のような事が起っているのです。

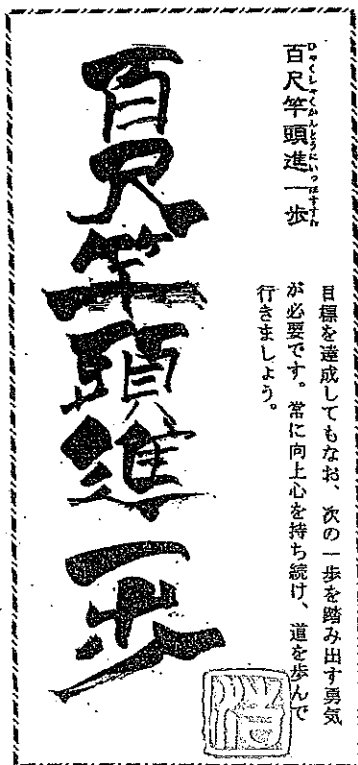
②新聞記事に、『暑さのためかん木が枯れたところもある』と書かれていました。「かん木とは「灌木」の事であり背丈の低い木の事です。「灌」の字が使えないので、「低木」と言葉を換えて使用している新聞社もありました。だが低木はその儘の意味しかないので、灌木には「木と草との間に位置する植物」と『大言海』の辞書にあり、牡丹、萩、薔薇などもこの類に挙げられています。（灌木の対義語は「喬木」。杉、檜、樺など。）

③似たような例は他にもあります。ひと頃「拉致」は「ら致」と表記されました。今でこそ

国民的関心もあり常用漢字に採られたので、「拉致」と漢字表現出来るようになったのです。「論文をねつ造する」、「歴史を改ざんしている」と言う記事を目にすることがあります。「竄」も「捏」も常用漢字にないからです。「改竄」「捏造」は2字で1つの漢語です。その言葉を仮名と漢字で分断する事は、その言葉に対する冒瀆です。

2、読書と作文の時間を増やす

①国語力の低下は、論理的思考や推理力、判断力等の欠如は、国民の知的レベルを低下させ、やがて国力の減退を招くことに繋がります。このため国語教育は一層重要性を増しています。しかし国語の学習時間が不足しています。特に重要な読書活動と作文の指導が



十分行われていないため、次の効果が望めないのです。

②読書によって得られる効用 ㊦幅広い知識 ㊧未経験・未体験の補充（バーチャル）㊨豊富な語彙の獲得。㊩表現力や文章力の向上 ㊪感動・共感の共有 ㊫想像力・創造性の涵養。

③作文の効果 ㊬主題設定で問題意識を高める ㊭書くための言葉や漢字を考える ㊮文の構成（組立）から論理的思考力を養う ㊯推敲する過程で文章力が高まる ㊰書くことで自己の主張や意見も磨かれる。

④この栄養素たっぷりの読書活動と作文指導は、国語教育の柱になります。学校で子供達に、読み書きの基本をしっかり身に付けさせなければ、パソコンでキーを「たたく」を漢字変換させても、「敲く」なのか、あるいは「叩く」なのか分からず迷うことになります。正しく使えないなら折角の漢字が勿体ないです。この場合の正解は「敲く」です。「敲く」には「続けて打つ、繰り返して打つ」という意味合いがあります。キツツキが木を敲くも同様です。これに対し、「叩く」は「ぶつ、なぐる、

痛めつける」という意味になり例として「買い叩く」等があります。

⑤だが漢字教育を含む国語教育には2つの大きな課題があります。1つは前述した授業時間が少ないことです。文科省は何が本質で、何が最も大切な教科か知らな過ぎます。もう一つは教師の姿勢です。漢字学習や作文教育の重要性を、肝心の教師自身が分かっていない嫌いがあります。特に今の教師は完全なるPC・スマホ時代の申し子です。子供達とある意味で同じ世代であり、国語や語彙としての漢字文化に対する理解が不足しているのです。そのため漢字指導は字体や字義に触れず、ただ点や撥ねに拘り続けている気がします。

3、ネット言葉について考える

①今ネット言葉等による事件の報道が、メディアに頻繁に登場しています。その為関係者や識者は盛んに警告を発しています。この背景に次の点があると思います。

- ・通常言葉には「話し言葉」と「書き言葉」があります。皆さんも同じだと思いますが、「話す」時には相手に自分の意思が伝わり易い様に、分かり易い言葉を使います。
- ・例えば「うちの子はかけっこで勝ったよ」と言います。しかし「書く」時は「徒競走で勝ちました」と書きます。明らかに威儀を正し、読み手に対し改まった言い方をします。
- ②その理由を考えた場合、「書く」時には、自分の心に問い直し整理するからです。だから言葉を選ぶのです。この行為を内省と言い、自分の心を深く耕しているのです。
- ・一方「話す」時には相手の顔が見えます。話ながら相手の変化に応じて話し方を変えこともします。当然漢語よりも和語が多くなり、其処では「心を通わせる言葉」が働きます。
- ③ところが既述したように「ネット言葉」が登場しました。これは「書く」行為とは言えないものです。紙に向かって自分に問いかけながら言葉を選択し、文字を紡ぎ出してはいないのです。キイに触れて文字を変換しているだけなのです。
- ・もちろん話してもいない、相手はいないし見えないから、どんどんキイが打ち出されているだけです。相手の様子が見えれば、変換行為に自省したキイの敲き方も出来るが、此処では言葉が勝手に液晶画面に踊っているだけです。踊るわけですから大いに脱線した方向に足が踏み出しても可笑しくないのです。
- ④一昔前まではメールもスマホありませんでした。通常の電話でも思わず頭を下げて「おはよう御座います」と話したものです。現代の様に通信手段が発達していなくても、何ら生活や人間関係に支障を感じなかったものです。
- ⑤現代は何か大きく大切なものを置いてきている様に思います。人間は言葉と共に生き、文化を創り、言葉を通して物事を判断し行動してきました。それなのに今は「相手が見えない、人間が其処に居ない」、有るのは「見えない彼方の幻」だけです。

終章

- この章では私の漢字に対する思いを書きました。漢字の魅力は何と言ってもその意味と拡がりです。拡がりを探ると隠された物語に行き着きます。同時に心に残る成句があり、人生観、死生観を考えさせる語彙も豊富です。その為本稿の随所に「西東社」発行の「禅のことば」を載せています。拙い書はその模倣で上浩村の箸筆（はしふで）です。

1、漢語は魅せます！目から鱗が…

- ・何気なく使ったり聞いたりしていた漢語も、参考書を調べると数多の誤用や間違いに気付く事があります。以下その例を紹介します。皆さんの目から鱗が落ちるでしょうか。

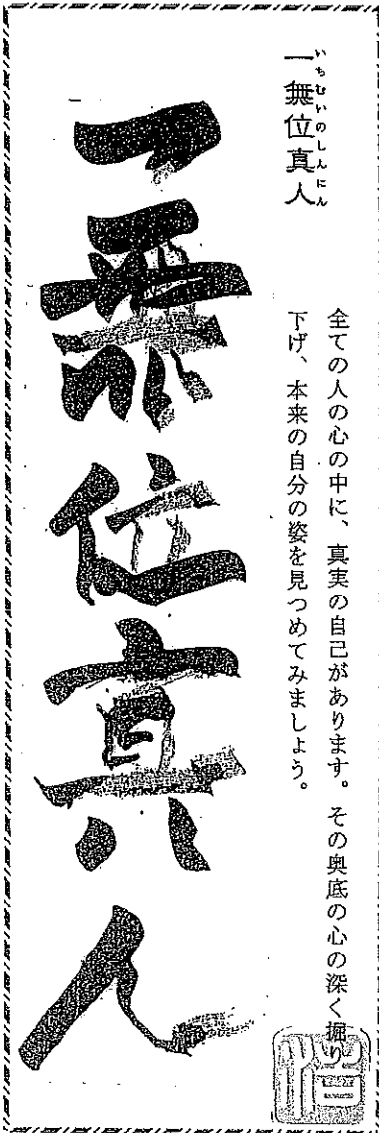
①ゲキを飛ばす（「激」ではなく「檄」）

- ・試合を前にして監督が選手をベンチに集め、「ゲキを飛ばした！」とあります。覇気の無い選手達に対し、監督は活気を付けている光景です。
- ・しかしこれは本来の使い方とは違っています。「ゲキ」の字は「激」ではなく「檄」なのです。昔の中国では人々に「御触れ」を告げる時に、木札に文書を書いて出したり張り出

です。昔の中国では人々に「御触れ」を告げる時に、木札に文書を書いて出したり張り出したりしました。これが「檄」です。

- ・つまり「自分の主張や考えを人々に訴える」事を、「檄を飛ばす」と言うようになったのです。だが現在、上述のように誤用されているのです。

② 言語道断 (絶賛する言葉だった)



- ・言葉に出せないほど非道い事を指します。「道」は口で言う意味を持っています。道徳とは「徳」を言うから「道徳」と書くのもこの謂いです。それが「断たれた」のが「道断」です。大量残虐殺人事件が起こった時、よく「言語道断」の凶悪事件と報道します。
- ・しかし元は違った意味でした。仏教の奥深い真理や感動を、言葉では言い尽くせない事から生まれた言葉であり、もの凄く素晴らしく御利益のある言葉だったのです。今は真逆の意味で使われており一般化しています。

③ 才と歳 (両字は別物)

- ・年齢を表す時に「才」使うことが多いと思います。しかし基本的には間違った使い方です。「才」は「歳」の略字でも何でもないのです。のみならず年齢とも関係ない字です。
- ・「才」は能力や才能を表す漢字であり、「歳」は年月を表し、「歲月」とか「歳入歳費」とかの熟語を持っています。「才月人を待たず」とは書かないのはこの意味からです。

④ 「じゃっかん」とは何か

- ・「ジャッカン40歳で外務大臣に抜擢される」と言う時のジャッカンとは、どんな漢字を書くのだろうか。「若干」はどうでしょう。若干の意味は数量的なものを言い、「わずか」とか「不定の数」と言う意味です。だから「若干名を採用する」は正しい書き方です。
- ・一方、「弱冠」と言う熟語があります。これは古代中国で「弱」を20歳と言い、そのお祝いの式では「冠」を被

りました。ここから20歳の男子を指す言葉となりました。従って21歳でも弱冠とは言わないのです。

- ・ところがよく「弱冠35歳」とか「弱冠30歳」とかの表現があります。間違った使い方であるのに、このような表現が世に憚っています。(若輩、弱輩と言う熟語もあります。歳が若い人、未熟なことを指しています。)

⑤宿題（家です？）

- ・宿題の「宿」には、「前もって」とか「以前から」という意味があります。だから宿題は前もって出されたのです。場所はどこでやってもかまわないのです。
- ・またその場で解く場合もあります。それを「そくだい即題」または「せきじょうだい席上題」と言います。現在は殆ど使われていません。響きの良い言葉なのに残念です。「席上題」と聞いただけその場の生徒学生諸君の緊張感が伝わって来る言葉です。

⑥「如才ない」（褒め言葉か？）

- ・「あの人は如才のない人だ」と言う言い方があります。「如才」は手抜きや粗略にするとという意味です。今れが「ない」わけだから、一転して「万事に抜きががない、気が利いて愛想が良い」と言う、最大級の褒め言葉に変わります。
- ・だがこの言葉には皮肉が込められています。第一この言葉はある人を評したり、噂をしたりする時に出る言葉です。
- ・その裏にはその人の優れた才を、羨む・妬む等の気持ちが混じっています。聞く人はそこを見逃しません。発言には気を付ける必要があります。

⑦ 醍醐味とは？（仏教語）

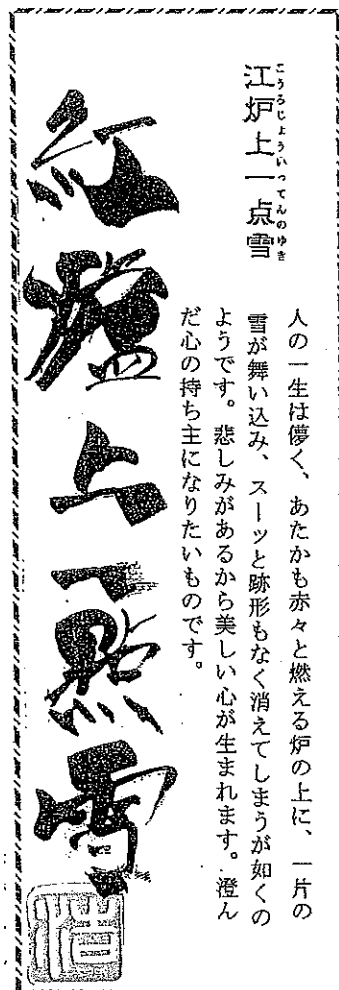
- ・「オーケストラの醍醐味は生演奏だよ！」などと、物事の神髄や本当の面白さを味わう意味で使われる言葉です。実はこの「醍醐味」、語源は乳製品の最終品からきています。
- ・牛乳の精製段階には、乳・酪・生酥・熟酥・醍醐の五味があり、醍醐は最終での極上品ごくじょうひんと言う事になります。
- ・因みにこの五味は仏教の悟りの段階でも使われており、サンスクリット語（古代インドの文章語）で「醍醐」はサルピン・マンダと言うそうです。乳酸飲料のカルピスもサンスクリット語と言うことです。

⑧ 大食漢（女性に「～漢」はない）

- ・大食いの男子に使う言葉です。ところがこの「漢」の理解が不十分なためか、誤用されることがあります。例えば、「今年入社したA子さんは凄（すこ）い大食漢ですって！」などと言います。「漢」は男子に対する蔑称の意味で使われる場合もあります。例えば痴漢あつかんや悪漢あくかんなどです。重要漢字でありながら何か好ましくないイメージが付纏（つさまと）います。

⑨「敬遠」（孔子の言から生まれた言葉）

- ・「論語」は、孔子が仰った様々な言葉を、後世の弟子達がまとめた言論集です。その孔



子の言葉が語源になっているものが沢山あり、「敬遠」もその1つです。

- ・『ちょっと彼は苦手だから、一緒に行くのは敬遠しておくよ』などの言い方があります。しかし本来の意味の趣旨からは少し外れた使い方です。
- ・嫌いとか、嫌だから敬遠するのではありません。尊敬しているが一緒にとか、同席するとかまでは少し気がひけてしまう気持ち、つまり「相手に対する自分の役不足」を感じるからこそ、遠慮を申し上げているのです。
- ・実際、『子曰く、鬼神を敬してこれを遠ざく』（敬うけれど近づかないと言うこと）と孔子は仰っています。この観点からすると二千五百年後の今日、甲子園であのゴジラ松井を全打席敬遠したのは、まさに孔子の教え通りの事をしたままでと言うことになります。
- ・現代の語法を「広辞苑」では、「表面は敬うような態度をして、実際は疎んじて親しくしないこと」と出ています。

⑩土壇場（刑場の仕置き場）

- ・切羽詰まった場面や局面を言います。つまり人生を左右する程の難局であり、まさに進退窮まる状態を指しています。
- ・それもそのはずで、「土壇」は死刑囚を斬首するため、わざわざ土を盛り上げ固めた壇を言います。土壇場はその場に引き据えられた罪人の場所を指しています。そう思うと軽々しく「オレ今、土壇場なんだよ」とは言えなくなりますね。

⑪穿った見方

- ・穿つとは物に何か鋭い道具で穴を開ける事です。穴を開け突き通し、隠されている物を見たり暴き出したりする行為のためです。
- ・従って「穿った見方をする」とは、物事の真相や本質を巧みに言い表すことです。決して色眼鏡で見たり、偏った心情で見たりすることではないのですいつから、「穿った見方」をされて来たのでしょうか。
- ・真逆とは行かないまでも、「貴様」「女房」「いい加減」「適当」等の言葉も、本来の趣旨からかなりズレて使われています。機会があったら調べてみて下さい。

⑫「巫女」の正体（その重要な隠された一面）

- ・神に仕える未婚の女、乙女を指します。「清しめ」とも言い、神の心を慰める意味です。しかし実際は神と性的関係を持つ女とも言われ、身を捧げる事実上の妻と言えます。
- ・これは昔、若い女が毎年、神、即ち鬼の人身御供になり殺されていきました。この犠牲の繰返しを止めさせるため衆は巫女として差し上げたのです。（他にも諸説あります。）

⑬神の正体（神は時と場所により4つの魂を持っています。）

幸魂・荒魂・和魂・奇魂

- ・幸御霊（人に幸福を与える神の霊魂）
- ・荒御霊（荒く猛き神霊。これはもう鬼です。）
- ・和御霊（柔和で優しい神霊）
- ・奇御霊（不可思議な力を持つ神霊）

⑭天子南面す（彼の右に出る者がいない）

- ・天子は北側を背にし南を見て座ったり立ったりします。天子側から見て天子の左は東側であり太陽に最も近い位置になります。
- ・天子と対面している臣下や群衆は南側にいるので、北に座す天子を見た時その右側には誰もいない事から、「彼の右に出る者はない」という言葉が生まれたのです。

⑮内裏様の位置（京と東京は違う様だ？）

- ・雛人形を飾る時も基本的に上記の天子と同じです。従って内裏（天子）様は向かって右側に置くのが正しい。しかし今の我が国では、京都ではこの伝統が守られているが、東京は内裏様を左側に置き、お雛様（皇后）を右側に置くことが多いのです。
- ・これは欧米諸国が右を左より上位に置いている事に影響されているからです。その大きな理由は明治天皇の即位式にあります。天皇は列席の百官から見て左側にお立ちになったのです。つまり天皇側から見た場合、左側には皇后がお立ちになられています。
- ・この盛儀を境にして、古来からの伝統が崩れて来ているように思います。（古代中国や日本では左大臣が右大臣より上位でした。）



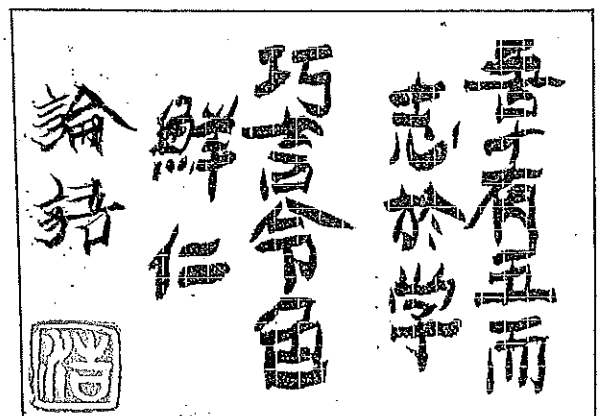
第三考（人生を考える）

- ・日本に漢字が伝わった時に漢籍の四書五経（後尾の「注」を参照）を初め、仏教の言葉、特に後から伝わってきた禅宗も入ってきました。全て漢字表記です。宇宙や自然の真理を端的に表現した漢語や、深い意味を蔵した仏語等です。多くの日本人はその教えを意識するしないに関わらず計り知れない影響を受け、日本文化の血肉となっています。
- ・その幾つかの言葉を独断と偏見で挙げてみました。本稿に挟んだ断簡靈簿（書き残した小さな断片のこと）や禅の困み言葉です。熟読翫味（鑑賞）して頂ければ嬉しいです。いや失礼しました。「ご笑味下さい」でした。

【注】・四書とは朱子学が尊崇した儒教の教え。

- ① 論語（孔子の教えを弟子達がまとめた語集）
- ② 孟子（孟子の言論集。孔子の孫、子思の弟子）
- ③ 大学（朱熹が儒教を整理した際の1つの章句）
- ④ 中庸（孔子の孫、子思の作）

- ・五経とは儒教で尊重される五種經典（六経あつたが「楽経」が亡失している）①易経



- ②書經 ③詩經 ④春秋 ⑤礼記

- ・四書も五經も中国官吏登用試験(科挙)の必修題でした。同じ船に同乗した遣唐使・阿倍仲麻呂、吉備真備、遣唐僧・玄昉も渡唐後この試験を受けたと思われます。
- ・この科挙の試験、超難関であり、現在我が国で実施されている司法試験の数倍の難度と考えられます。朝鮮を始め周辺の王国もこの制度を採り入れたが、日本の朝廷は何故かこの制度は纏足と共に採り入れませんでした。(理由は割愛します)

①生(この世に生を受ける)

②煩惱(生きる上で様々な欲望に悩む。) 釈迦の苦しみ→生・死・老・病、)

③諸行無常(變て、自然界を含めたこの世の無常を知る。三法印の一つ。万物は常に變化し少しの間も留まらない)

④喝(人生の岐路に立ち、己を励ます。)

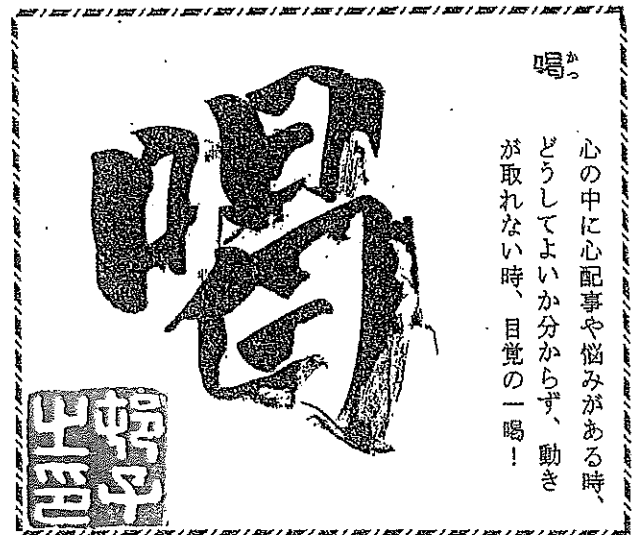
⑤俯仰天地に愧(作)じず(孟子の教え)
・仰いで天地に愧じず、俯して地に忤じず。

<心中に少しも疚しい事がないから、天に対しても地に対しても恥ずかしい事はない>



④徧界曾て蔵さず(徧界→三千世界、つまり前世、現世、来世を指す。いっどこでもの意)
<物事の真理はいつ何処でも隠(蔵)れていない。それを見付ける事が修行である>

⑤明珠在掌(明珠→透明で曇りのない珠のこと)
<優れた玉石、即ち人物や真理はあなたの掌の中にある。問題はそのモノをあなたは探す事が出来るのかどうか、其処が問われていますよ>



③涅槃寂靜(三法印の一つで仏教的教説をいう。)

<煩惱を断ちきった悟りの世界は、心の静まった安らかな境地である>

- ・残りのもう一つとは、

・諸法無我しよほうむが →いかなる存在も永遠不変ではない。)

⑥無む（最終的には無我の境地に、そして躰やがて魂魄こんぱくの世界に誘いざなわれる。

⑦道元だうげん（曹洞宗の開祖）の「四季の偈」

（最終頁に掲載しています。）

・日本の自然美を端的に表現し、至高の三大価値観かちかん（注・裏表紙参照）である真善美に繋がる思いがします。



追章二題（「令和」、国語力の低下）

1. 「令和」について（新元号発布に合わせて「令和逍遙」より抜粋）

①「令」は 亼 + 卩せつ で成り立つ会意けい【26「六書」ひきま】文字です。

亼 → 頭上に戴く冠の象形 卩 → 人が跪ひざまっている様子。

つまり人が跪いて神の意を聴く様子。「言い付ける」の意味を表します。この事から、

i 命令 → 詔みことり、勅みことり、法のり、法令りつりよう、律令おきて、掟、戒め、教え、教訓等の意味や語句を持ち、「命ずる」という意味に集約されます。

一方で、

ii 立派 → 優れる、敬称（令息、令嬢、令室、令兄）等の語句があり、「良い・佳し」の意味を持っています。

iii 「令」 → 同族漢字に「伶・嶺・羚・鈴・零・領・齡・冷・怜・玲・吟」等あります。

②「和」について

i 龠 → 味 → 「和」

現在の「和」は三段階を経て出来た最後の字です。

ii 古字 → 「龠」 → 左側の龠は管を並べて作った笛（ふえ）のことで、右の禾はイネのことです。この事から笛の音が次第に口と同義になり、本字の味が出来ました。

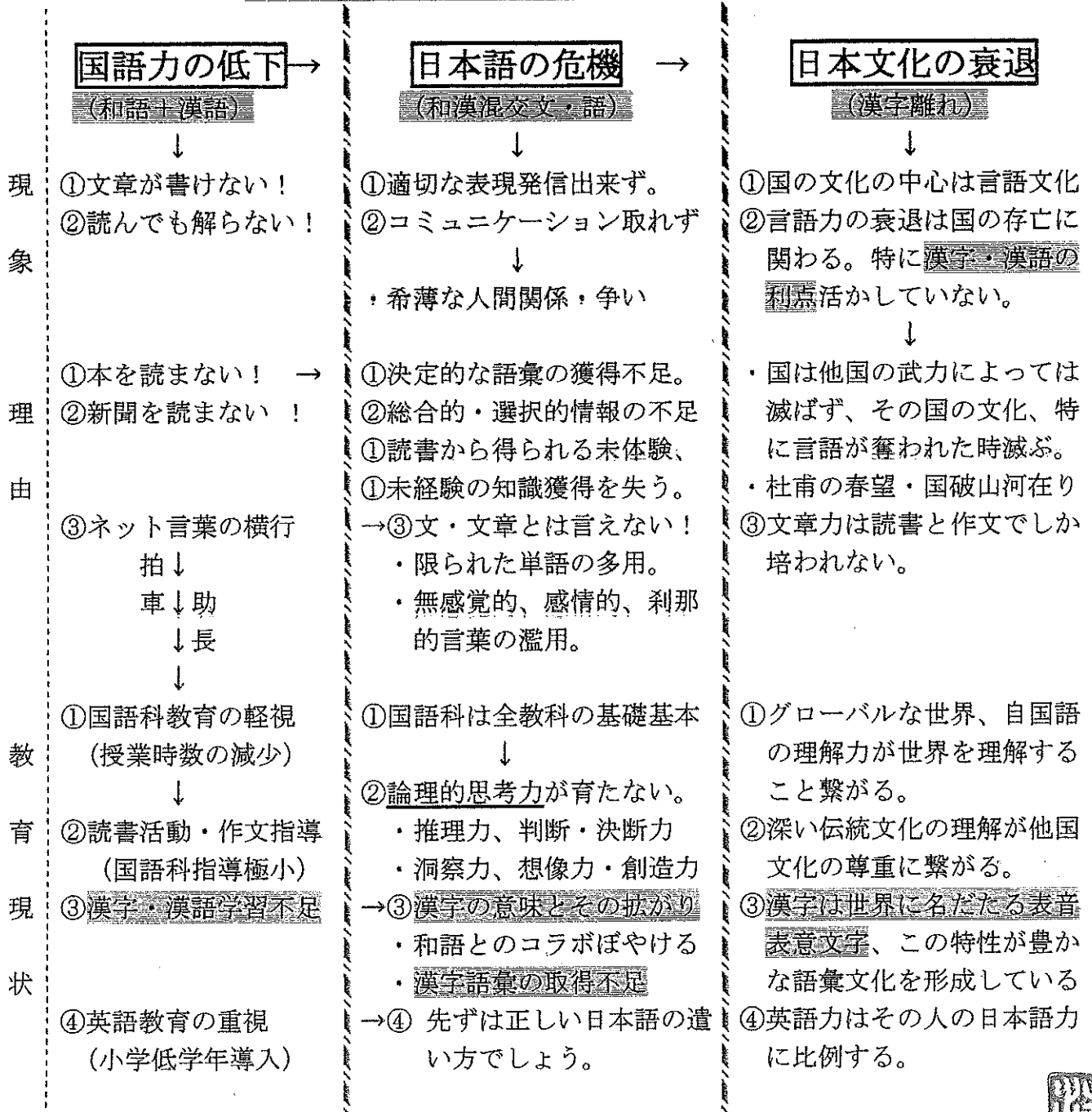
iii 本字「味」 ⇒ 味の右側の禾は會に通じ、會（旧漢字は會）の意味です。つまり「和」の意味は、の声（口）と人の声が調和する、和むことです。また一説には禾はイネが稔なるって頭が重くなり、段々稲穂が下に垂れ全体的に丸くなった形から、円まるやかにと言う意味があると説かれています。

*麗凜れいりんとした気品のある「令和」が、ギスギスした「冷和」社会にならないことを祈ります。

2. 国語力の低下 (何かを伝えい)

何かを伝えたい!
漢字・漢語 を取り巻く コンセプト
 危機はもう其処に^て来ている!

本日の講話、中心は網掛け部分の漢字・漢語

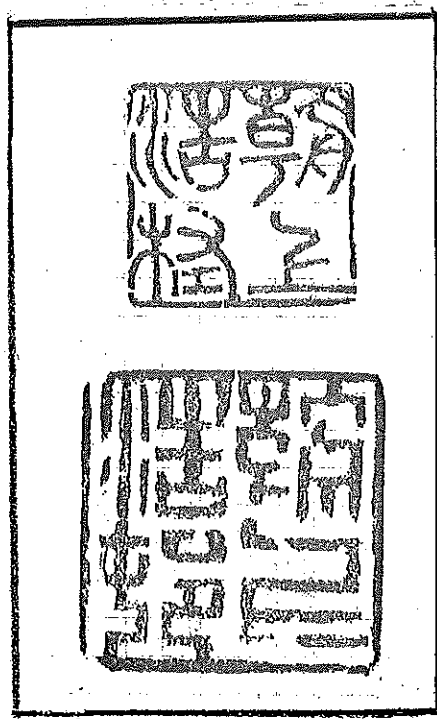


村上 浩 

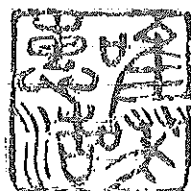
道元（曹洞宗の開祖）の「四季の偈」



朝上村



「唯咲愚浩」
自嘲ネーム



最初のペンネームは
あさかみこうそん
「朝上浩村」

